119 番のかけ方

「聞かれたことだけに答える！」これが、命を救うための近道です！

下に通報の例を解説付きで記載しています。
あくまでも一例ですので、状況によって聞く内容は変化することをご了承ください。

①「119 番消防です。火事ですか？救急車ですか？」
緊急事態で急いでたくさん色々話したい気持ちはわかりますが、火事なのか救急車なのかを教えてください。

②「救急車を向かわせる住所を教えてください。」
住所がわからないと助けに行くことができません。何番地何号、アパートなどは建物名と号室、宅名を正確に教えてください。最初に住所を確定させることで、早く出動させる事ができます。
住所がわからない場合は近くの目標物や目印となる物、通ってきた道順等を教えてください。
また、携帯電話の GPS を ON にして通報すると、住所確定に役立ちます。

③「住所確認のためお隣かお向かいのお宅を教えてください。」
似たような住所や名前があるので、間違いを無くすための質問です。また、慌てて通報している事が多いので、確実に住所を確定させるためには重要な質問ですので、違和感があるかもしれませんがご協力下さい。
わからない場合はすぐに「わからない」と言ってください。世帯主のお名前を聞いたり近くの目標を聞いたりしながら住所を確定させます。

④「住所確定が出来ましたので救急車を向かわせました。
救急車が必要な方は、今、意識と呼吸はありますか？」
救急隊に状況を伝えるために、具合が悪い人の訴え、持病、かかりつけの病院などを聞きます。命に関わる重要な事から聞いていきます。緊急事態では「現在の状況」がとても重要です。わからない場合は「わからない」と言ってください。他の様々な聞き方で確認して、救急隊に伝えます。

○その他、通報内容に応じて聞く内容が変わります。
○火災の時は、次のことを主に聞きます。
安全な場所に避難していますか？
何が燃えていますか？
逃げ遅れやケガ人はいますか？
家には何人が住んでいますか？
他に燃え移る可能性はありますか？

火災の時には、避難を最優先し安全な場所へ移動してから通報しましょう。
無理に初期消火等は行わず、風上等の安全な場所で消防車を待ってください。

NET119 は、音声での会話が困難な方が、いつでもどこでも音声によらない通報をすることができる、インターネットを使用したサービスです。

こちらのQRコードから
石狩北部地区消防事務組合の
ホームページ内「NET119緊急通報システム」
の説明が見られます。

「救急車を呼んでもいいか相談したい。」
「病院に行くべきか迷っている･･･」

と、悩んだり、ためらわれた時は
「救急安心センターさっぽろ」へ！
24時間 365日看護師さんが電話対応します！
電話番号は「＃7119」または「011－272－7119」

11月

大洋デパート火災（1973 年 11 月 29 日）
熊本県熊本市の百貨店「大洋デパート」で火災が発生し、死者 103 人、負傷者 121 人におよぶ被害を出した日本の百貨店火災としては史上最悪の惨事である。被害が大きかった理由としては、営業しながら増築工事を行っていたがために防災施設や防火管理体制に欠陥が生じたものといえる。この火災を契機にスプリンクラー設備等の消防用設備等が既存防火対象物に遡及適用されるよう消防法令が強化された。（消防防災博物館資料より抜粋）

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 文化の日	4	5 世界津波の日	6
7 佐呂間町竜巻災害（2006 年）	8	9 119 番の日	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20 川治プリンスホテル火災（1980 年）
21	22	23 勤労感謝の日	24	25	26	27
28	29 大洋デパート火災（1973 年）	30				

火事・救急・救助は１１９　石狩消防署